

平成 29 年度 第 8 回 介護・医療連携推進会議 記録

● 事業所情報

法人名	株式会社エイプレイス
事業所	エイプレイス麻生

● 開催日時・場所

日時	平成 29 年 1 月 19 日 (木) 14 : 00～15 : 40
場所	福祉パルあさお 会議室

● 参加者 (順不同)

NO	所属 (役職)	氏名
1	川崎市社会福祉協議会あさお訪問介護支援事業所	A 様
2	「結」ケアセンターあさお	B 様
3	ケアーズ新百合ヶ丘訪問看護リハビリステーション	C 様
4	新百合ヶ丘居宅介護支援事業所さくらそう	D 様
5	特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブグループとも	E 様
6	特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブグループとも	F 様
7	居宅介護支援センター虹の里	G 様
8	エイプレイス麻生 (所長)	靱山 輝行
9	エイプレイス麻生 (管理者)	中山 あんり
10	エイプレイス麻生 (看護師)	小林 瑞紀

● 議事

1	開会のあいさつ・参加者紹介
2	サービス提供状況の報告
3	自己評価及び外部評価
4	その他 (質疑応答・意見交換)
5	閉会のあいさつ

● 記録

中山	2年前の1月1日に事業所を開設させていただき、麻生区を中心に、多摩区と宮前区の一部で定期巡回サービスを提供させていただいております。昨年10月に事業所を百合ヶ丘から新百合ヶ丘に移転いたしました。以前の事業所より広くなりましたので、お時間のある時にお立ち寄りいただければと思います。本日は年に一度の自己評価・外部評価を行いたいと思ってお
----	---

	ります。これまで一年間提供してきたサービスについて自分たちなりに評価を致しましたので、皆様のご意見やアドバイスを頂ければと思います。
靱山	実績報告。資料「エイプレイス麻生チーム型定期巡回連携実績」について
参加者様	青い部分のサービス内容はなんでしょうか？
靱山	資料「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス実績報告」の3枚目裏にあるものが主なサービス内容となっております。多いのが排泄介助で、あとは更衣、移動・移乗、定期巡回ならではの安否確認もありまして、配膳・下膳などがあります。なかなか長時間滞在するのが難しいので、まず配膳をさせていただいて、次の訪問の際に下膳をさせていただくとか、まずは洗濯機を回して、次の訪問で干して、さらに次の訪問で取り込むというような、生活援助を分割させていただくような形で入らせて頂いております。今後チーム型の方に力を入れて、何とか地域で定期巡回が根付けば、と考えております。資料にあります、青い部分のサービス内容について、もう少し分かりやすくなるように、次回反映させていただきます。
参加者様	排泄介助が頻回に入っているようなのですが、尿意や便意って毎日タイミングが違うと思うのですが、訪問に入る時間は決まっているものなのですか？
靱山	予め定期的な予定を組ませていただきまして、あとは随時で時々呼ばれる方もいらっしゃいます。「便で汚れてしまっているから」とご家族様がコールを押されることもありますし、ご本人様から「出てるようで、気持ちが悪い」とコールをされることもあります。
中山	たまに「トイレに行きたい」というコールもありまして、間に合いたいとは思っているのですが、すぐに向かうことが出来ないこともあり、間に合わないこともあります。
参加者様	(資料「エイプレイス麻生チーム型定期巡回連携実績」について) 入浴介助と洗濯に80分とか、調理と排泄介助に90分とかありますが、これはもともと訪問介護とか入っていたところに定期巡回が組み込まれたということですか？
靱山	⑨と⑫に関しては、もともと訪問介護が入っていたのですが、排泄介助や安否確認でもう少し入ってほしいということで、定期巡回をお考えになられたケースです。訪問介護事業者様にそのまま継続して入っていただいて、足りない部分を我々が入るといった形で定期巡回が届けられたケースです。それとは別ですが、新規のご依頼で調理のニーズがありまして、連携先の事業者様に入っただけのことになり、スタートしたケースもあります。
中山	⑫の調理・排泄介助で90分のものに関しては、まだサービス自体が始まったばかりで、ケア内容の精査が出来ていませんので、これからアセスメントしつつ調整していくことになると思います。
参加者様	新規の方でも長時間の家事援助をお願いすることはできるのですか？
中山	必要であれば、お受けいたします。
参加者様	それが、毎日必要だったとしても対応していただけるのですか？
靱山	そういった依頼が来ますと、我々で話し合っ、難しい部分が出てきたら、委託先の事業者様にご相談させていただいて、それでもできない部分は、ご本人様やご家族様にもご相談させていただくことになると思うのですが、基本的にニーズがあれば、時間に関わらずやっていく必要があると考えております。

参加者様	つい最近、うちのケアマネと話していたら「定期巡回は長時間の家事はやってもらえないから、頼めない」と言っていて、定期巡回をちゃんと理解していないみたいで「長時間はやらないってことはないはずだから、それは状況を説明して相談してみたら」という話をしたのです。 「定期巡回はちょこちょこ来て、すぐ帰っちゃう」というイメージがあるようです。さっき仰ってたような、ちょこちょこ入って家事を分割してこなしていくというイメージがなくて、短時間で家事は出来ないと思いこんでいるのも事実だと思います。実際資料で見ると、80分や90分入っているところもあるし、せっかくいいサービスなのに、間違っって伝わっているのが残念だと思います。利用者様の中にも「来てもすぐに帰っちゃう」と仰る方もいて、そういうイメージを持ってらっしゃる方もいます
靱山	安否確認とか服薬確認とかは、会話に出さなくても見ればわかる事なので「しゃべっただけで帰った」と思われているのも事実あると思いますが、毎回行くたびに「安否確認に来ました」というのも煩わしいかと思えますし……。なかなか難しい所もあります。
参加者様	確かに入って「薬も飲んでるし様子も大丈夫」ってなったら、「じゃあまた後で」ってなりますよね。ヘルパーさんの中でも、良く気づいてやってくれる人もいたり、そうでない人もいたり、差があるみたいですね。
靱山	事業所の中でも定期巡回に対する認識が共通に持ててない部分があると感じております。そもそもケアプランがあって、我々はそこからの指示で入らせていただいているのですが、定期巡回は、入った時の状況で随時に対応できるサービスですし、入った時に必要なことがあればケアプランになくても対応します。しかし、認識が甘く「できない」と言ってしまうヘルパーがいることも事実でして、必要なことは状況に応じてサービスを提供する、ということを共通認識として持っていかなければならないと思っています
中山	元々訪問介護をやっていたヘルパーで「ケアプランにないことはやっちゃだめ」という感覚が抜けずに、認識がずれてしまう人もいまして、そこを摺り寄せるために事業所内でも話し合いをしています。
参加者様	プランプランって言うけども、現場に出ればプラン通りに行かないことは多々あって、そこはむしろ現場にお任せして、変更があれば、私たちがプランを見直すというスタンスで私はありたいと思っています。特に定期巡回なんて随時の対応もされているのに「できない」と言ってしまうヘルパーさんがいるのは残念ですね。
参加者様	うちはどちらかというと、やらなくていいことまでやっちゃうことが多くて、あとでケアマネさんに「そんなことやらなくていいのよ」と言われたりします。
参加者様	うちは生活援助で入っていて、急に身体援助が必要になっても、基本的にはやらせません。生活援助で入っているのに、身体援助をやった転倒させてしまった時に、保険会社で認められず、損害賠償を払えなくなるのでそういう面で、絶対にやらないくださいとヘルパーには話しています。もし、生活援助で入っていて、身体援助が必要になった時は必ず事務所に連絡してもらおうようにしています。点数がギリギリな人もいて、もし点数がオーバーした場合、自費契約をしていなければこちらが取り損になってしまうので、そこはケアマネの判断を仰ぎます。ケアマネに「そこは身体に変えてもいいよ」と言ってもらわないと、監査で引っかかるのでケアマネの了承なしではできないことにしています。

参加者様	もし、ケアマネに連絡がつかない時はどうしますか？
参加者様	それはサ責がやります。身体が出るかどうかわからないと、ヘルパーに身体のお金が払えないので、職員が対応をします。でも、損害賠償に関わるようなことにならないとも限らないので、本当はやりたくないです。
参加者様	介護保険の中でやっているということは、そういう縛りがあるということですね。
参加者様	そこまでの事情があつての「できないです」ということも、利用者様はご理解できませんよね。その部分はサービスを使うときに、ケアマネがしっかり説明しなきゃいけないね。
参加者様	予め、サービス担当者会議でありとあらゆることを予測して、ご本人やご家族に了承を得て、ケアプランには載せた方がいいってことですね。
参加者様	あんまりケアプランを細かくしちゃうと「プランにないのでできません」って、逆に動きにくくなっちゃうから、私はある程度フジャなプランにしておきます。サービスが始まってから気づくことが多いから、前もってきっちり決めておくのはなかなか難しいですね。
参加者様	エイプレイスさんは安否確認だけでも、細かく状況を書きとがさっているの、よくわかりますよね。その都度記録されてるのが見れるので、ご本人様の生活状況が見えてきます。
靱山	記録内容は、ご家族様、サービス関係者等、ご本人様に関わっていただいている方におきましては希望があれば、共有できるようになっております。
参加者様	買い物を頼むことはできますか？
靱山	その場ですぐ買いに出るというのは難しいのですが、予め仰っていただければ、次に入る時に買って持って行くという形であれば対応できます。
参加者様	連携で入らせていただいているのですが、PCでチェックして、更に紙ベースでもやっていて、それをもう少し簡略化できないものでしょうか？
中山	書いていただければより正確だとは思いますが、それがご負担になるようでしたら、書いていただかなくても大丈夫です。
参加者様	ターミナルの方だと、医療で訪問看護が入って、看護が主体になるかと思うのですが、ヘルパーさんはどのように関わっていくのでしょうか？その際の随時のメリットってありますか？
靱山	もともと予定していなくても、状況に変化があれば、その場の判断で状況に合わせてサービス内容や訪問回数を変えていきます。24時間どのように入っていくか、随時予定を変更していくこともあります。頻回に入って、安否確認だけで帰ることもありますし、それは状況によって何が出来るか判断することになります。
中山	ご家族も不安でいらっしゃって、頻回に訪問することで落ち着くこともあるようです。
靱山	臨機応変に対応できるというところで、ターミナルケアの方には適したサービスだと思います。
中山	自己評価に移らせていただきます。平成27年6月に川崎市から「自己評価及び外部評価等の取り扱いについて」の通知が出ておりまして、事業所ごとに自己評価を実施し、医療連携推進会議または運営推進会議で公表を行い、委員から評価を受けたのち市に報告するという事になっております。各年度1回行うことになっております。去年1月に自己評価を致しまして、今回また1月になりましたので、報告させていただく事になりました。自己評価表は「24時間在宅ケア研究会」という全国規模の団体が作成している評価表を使って今回も自己評価してお

	ります。
靱山	項目 2 について、やっていい事と悪い事など、対応すべきことへの認識が少しずつ来ているので、そこは正して「サービス内容はあくまで状況に則す」ということと、介護度によって訪問回数を決めるのではなく、適切なアセスメントによって訪問回数が決まってくる等、認識のずれを修正して、状況に応じての必要なサービス提供を徹底していきたいと思っております。
参加者様	事業所会議には、登録ヘルパーさんも参加するのですか？
靱山	登録ヘルパーさんは月に一度事業所に来ますので、その日に合わせて開催して、出来るだけ多くの人が参加出来るようにしています。後は日々、携帯の端末で情報を流していますので、そこで情報共有をしています。
中山	項目 10 の「個人情報の管理」は前回「ほぼできている」だったのですが、引っ越しをしたことで、鍵のかかる棚が増え、個人情報に限らず、全ての書類が鍵のかかる棚で管理できるようになりましたので、今回は「できている」という評価にさせていただきました。 項目 13 については、最初は要介護度 4 でお尻のただれが酷く、寝たきり状態だった方が、毎日陰部洗浄したり、オムツ交換したりしていくうちに、お尻のただれがなくなり、下肢の筋力も増強し、今ではリハビリで外の散歩ができるようになった方がいらっしゃいまして、心身機能の回復に添った計画作成は「ほぼできている」とさせていただきました。 項目 14 の「未来志向型の計画作成」について、血糖値が安定せず、入退院を繰り返していた方が、定期巡回が毎日入り、毎朝インスリンを確認することで血糖が安定したという方がいらっしゃいまして「ほぼできている」とさせていただきました。 項目 15 のについて、転んだ際の裂傷で縫った方がいらっしゃいまして、その日は、訪問回数を増やす等「サービスの柔軟な運営」について「ほぼできている」とさせていただきました。
靱山	こだわっていきたいのは項目 15 の「柔軟な運営に努める」という項目で、それを踏まえてやってきているのですが、最近対応できていないケースもありまして、今後もう一度是正して、その方のその時に柔軟に対応していき、是非「できている」に丸が付けられるようにしていきたいと思っております。
中山	利用者様の状況が変わった時に、ハードルが高くなってしまい、事業所のなかで「そこまでやったら大変だよ」という意見もあって、諦めてしまう事もあったのですが、今年はそこを超えて、諦めずにチャレンジして、やってみて駄目だったらまた次を考えるというスタンスで、もうちょっとその先に踏み込んでいければと思っています。
参加者様	昨日、ケアマネジャーの研修に行ったのですが、そこでも療養型は増えないし、施設も頭打ちで特養も 3 以上じゃないと入れないし、ヘルパーさんの数もどこも足りてないですし、そうなるとうこういった定期巡回が、どんどん必要になってくるのではないかと。という話が出ていたのですが、あまりみんな使っている印象がなくて、アピールが足りないんじゃないかと思えます。
参加者様	諦めちゃってる感じがしています。私は随分無理を言うってしまうのですが、それでも一緒に考えて、頑張ってる感じがして、随分頼りにさせてもらっているんですけど、同じ事務所のケアマネでも、「定期巡回ではこれはやってもらえないから」と思い込んでいて、自分のレベルで

	<p>線を引いてしまっていることがあるようです。「それは相談してみたら」という話はするのですが、そこがまだまだケアマネとしても分かっていないところで、定期巡回の良さがもっと広がって行けばいいと思うのですが……。こういう場を大事にして、ネットワークを広げて、ここに来るケアマネさんも増えるといいですね。最近特になんですけど「できません」という言葉を簡単に発して欲しくないな、と思います。特に現場レベルでそれを言っちゃうと、直に利用者様に伝わっちゃうし、できないにしてもそれはその場ですぐに「できない」と判断せずに、事業所に持ち帰って、上と相談するとか、一緒に考えるとかしていければ違うのかなと思うんですけどね。</p>
参加者様	<p>うちのケアマネも「これは定期巡回しかないな」と思って、エイプレイスさんに聞くと、時間が集中してしまって、結局入ってもらえなかったとか、短い時間しか入ってもらえないから無理だったとかいうこともあって、相談もしないで最初から諦めちゃっているようです。</p>
参加者様	<p>靱山さんや中山さんなんかには相談すると、何とか調整してくれたりするんだけど、実際電話に出てくれた人と話してみると、その場ですぐに断られてしまうので、靱山さんか中山さんがいる時に電話するようにしていて、そこがちょっとジレンマなんです。電話に出てくれた方も稼動中なのか、ゆっくり話が出来なかったりして……。コールセンターがあればそれで済む話でもないし、それも課題なのかなと思いました。</p>
靱山	<p>重々認識しております、大変申し訳ございません。そこは必ず改善して参ります。</p>
中山	<p>何か相談を受けた時にそのまま受けることが難しくても、別の方法を提案したり、調整したりできますし、始めの相談の時点で絶対に無理だと思われる事でも、持ち帰ってみんなで考えてみるとか、その場ですぐに断る事は避けたいと思います。全員の認識を改めます。</p>
参加者様	<p>あっさり断られちゃうと「もう頼めないな」と思っちゃいますよね。</p>
参加者様	<p>頼みたくなくなっちゃうのは確かにありますよね。せつかくいい感じでスタートしたのに、ちょっと残念だなと思いました。 通院の部分は、まだできないですかね？</p>
靱山	<p>通院の件に関しては、現状では何も手は打ってなくて、今の状況では難しいです。</p>
中山	<p>本日はお忙しい中ありがとうございました。ご相談を受けたことは、何かしらの形で応えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>

作成者	靱山 中山 小林
-----	----------

以上